



# 『 ぱんだより 』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。  
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第72号(2011年2月15日)変わっていく旧正月



## 変化する旧正月の過ごし方

2月3日が春節(旧正月)であるため、中国では2月2日から2月8日までの大型連休となりました。中国の春節は日本の年末年始の商戦と同様、1年間の消費や景気動向を占う上で最も重要な時期です。この春節の変化を読み取ることで、中国経済の行方も見えてくるのではないのでしょうか。

まず、中国人にとって一年中、最も重要な食事「年夜飯」(年越しの食事)が大きな話題を呼んでいます。

中国の文化として、「年夜飯」は家で家族と一緒に楽しむことが一般的でしたが、外食産業が成長することと共に、伝統文化に大きな変化が見られています。中国蘇州市の某ホテルでは1卓(約10人分)の食事が38万元(約476万円)で売り出されるなど、家の中ではなく外食しながら年末年始を楽しむといった傾向も出てきています。富裕層の中ではこうした極端に高級な「年夜飯」が生まれているのです。

一方、春節の伝統的な過ごし方と大きく違ったスタイルも徐々に浸透し始めています。1月27日から2日2日の一週間に上海浦東国際空港から出国した中国人旅行者は22万人を超え、前年同期比+44.7%と、急増しました。祝日制度の改革により、1週間の休暇が確保できることや人民元レートの上昇などにより海外旅行は中国人の身近な存在となり、そして中国における所得の急上昇が旅行者増加の要因と考えられます。

また、春節の旅行先ランキング(右図)を見ると、ビザ申請の手間や移動時間などの要因で、アジア諸国が人気を集めていると考えています。その中でも、先進国として相対的にアジア地域の中で物価が高い『東京』が9位となったことで、中国人における消費力の強さが覗かれます。



## 2011年春節、人気旅行先ランキング

1	香港
2	プーケット
3	シンガポール
4	バンコク
5	バリ島
6	ソウル
7	モルディブ
8	カンボジア
9	東京
10	クアラルンプール

出所: 携程旅行網のデータを基に当社作成。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『 ぱんだより 』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



## いよいよ、本格的に成長する農村部

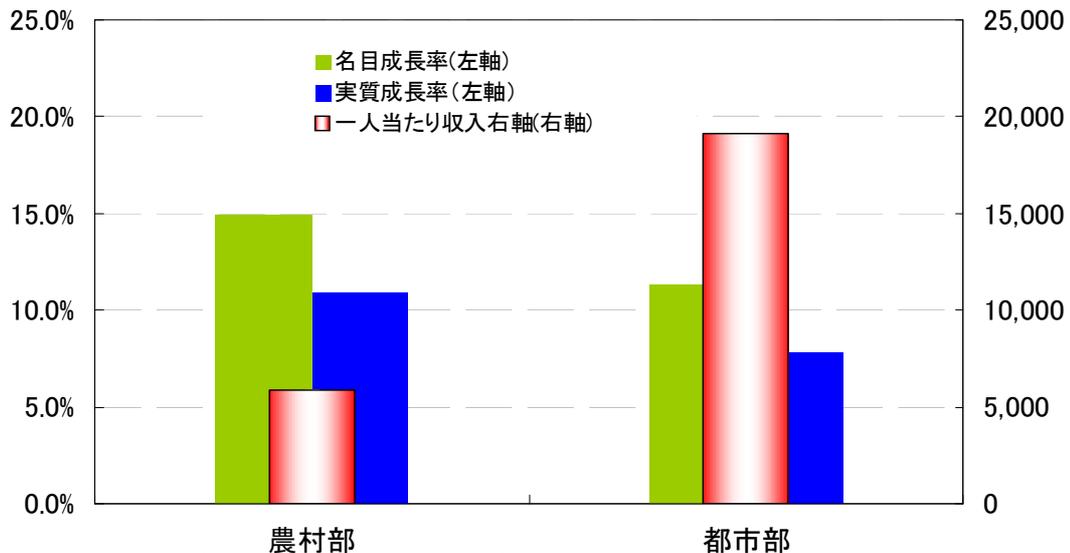
中国では、2代目の指導者である鄧小平氏が“沿岸部(都市部)の人民はまず豊かになり、次に内陸部(農村部)へ”という政策を掲げ、実行してきました。しかし、高度成長を成し遂げたここ20年間に、都市部と内陸部の貧富の格差が広がり、大きな社会問題となりました。

近年家電下郷、自動車下郷といったような様々な内陸部経済を刺激するような政策を打ち出し、その効果がいよいよ出始めました。2月3日に発表された中国国家统计局のデータによると、2010年の農民1人当たりの収入増加幅が1998年以来初めて都市住民を上回りました。同局によると、2010年の農民1人当たりの収入は前年比+14.9%の5,919元(約7万3000円)に達し、物価要因を除いた実質成長率は同+10.9%となりました。

中国約14億の人口の中で、農村部の人口が約9億と言われており、その9億人の所得が本格的に増えていくことが社会の安定化に繋がるだけではなく、今後の中国における経済発展のエンジンになっていくことが期待できます。金額ベースでは農村部の収入が都市部の3分の1にしか過ぎないので、今後も農村部の収入が伸びる余地がまだまだかなり大きいと思われます。いよいよ、中国農村部の本格的な発展がこれからスタートするのではないのでしょうか。

2010年中国農村部と都市部の一人当たり収入

単位:(人民幣元)



出所:中国国家统计局のデータを基に当社作成。

(編集後記) 中国英字紙チャイナ・デーリーによると、爆竹で盛大に祝った結果、旧正月の年始年末の32時間で中国全土で5,945件の火事が発生したようです。旧正月は朗報ばかりではないようですな。

(告られタイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。